

来月の消費予報

消費意欲指数は、12月に続き1月も前年同月比プラスを維持。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

1月の消費意欲指数は51.2点で、前月比-4.9pt、前年同月比+0.4pt。前月比ではマイナスとなったものの、比較的高い消費意欲指数です。

1月の消費意欲指数



↓ 前月比 -4.9 ポイント

↑ 前年同月比 +0.4 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意向



★ UP : 前年同月比で20人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で20人以上減少

「来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ
2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

1月のポイント

Point 1 : 前月よりは大幅低下も、1月の消費意欲指数としては比較的高スコア

1月は例年、消費意欲の高い12月の翌月ということで財布の紐をしめる傾向はあるものの、お正月や福袋、衣類のセールを控え、50点前後の高い消費意欲が示される月です。今年は12月に引き続き前年同月比プラスで、僅差ながら2014年以降で一番高い指数となりました(14年1月50.8点、15年1月49.0点、16年1月50.8点)。

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「新年、お正月だから」や「冬服が欲しい、セールがある」など、季節的な出費を挙げる声の前年より増えています(16年1月104件→17年1月133件)。低位安定だった2016年から、前月、今月とやや好転が感じられますが、2月以降の動きを見守っていきたいところです。

Point 2 : 下支えの要因は、男性のセーブ意識のやわらぎ

消費意欲指数を男女別に見ると、男性の方が前年同月比+1.7ポイントと伸びており(女性は-0.9ポイント)、それが消費意欲指数全体を下支えしているようです。

特に買いたいモノ・利用したいサービスについても、男性は「ファッション」、「外食」、「旅行」において前年同月より20人以上増加しており、男女全体で見た場合でも、20人以上増加しているのは上記の3カテゴリーとなっています。

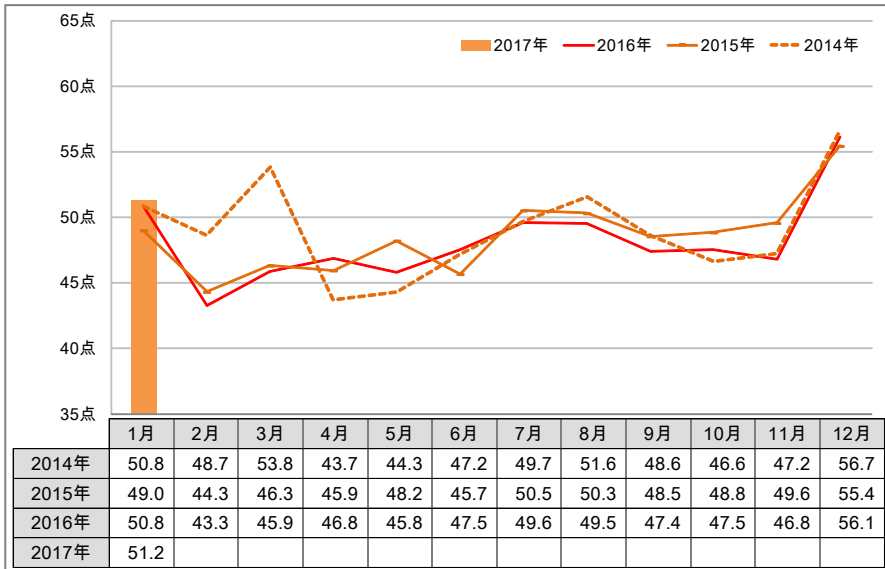
消費意欲指数の理由の「今月までに多く使った反動でセーブ」を見ると、女性が前年とほとんど変わらないのに対し(16年1月89件→17年1月91件)、男性は少し減っており(16年1月62件→17年1月49件)、男性の方がセーブする意識がやわらいでいる印象です。

消費意欲指数

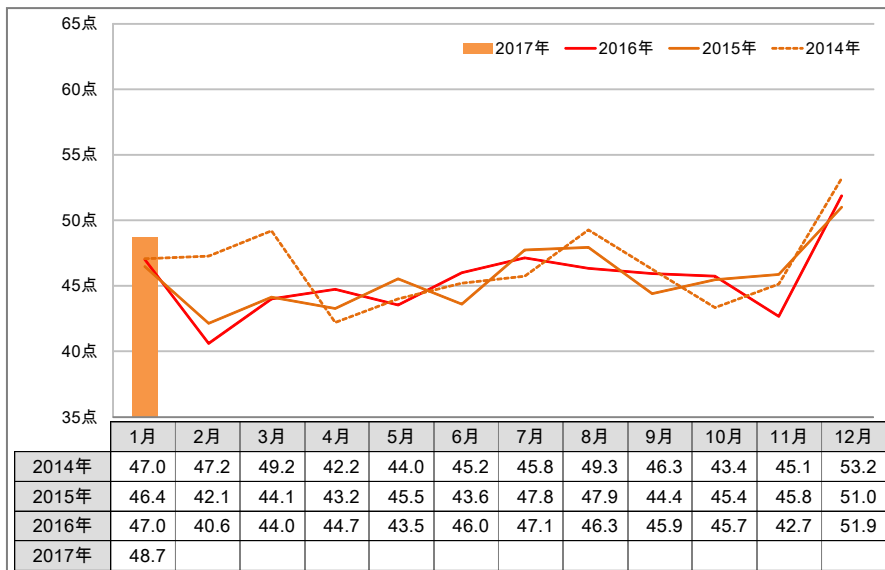
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

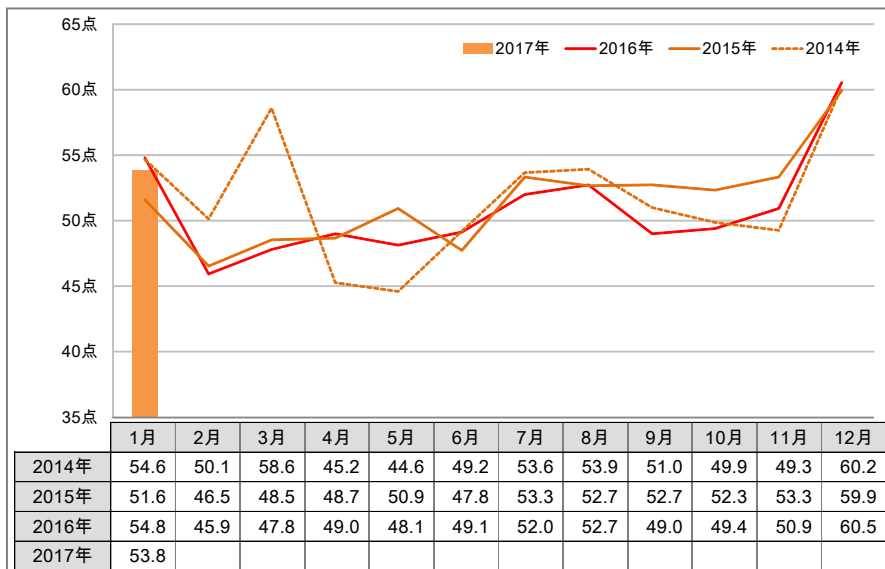
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【新年、お正月だから／冬服セールがある】

- ・冬服が少なく、新しいものを買いたくなると思うから(80点・男性23歳・愛知県)
- ・年末年始で財布のひもが緩む(85点・男性37歳・東京都)
- ・セールが始まるし、お正月がある(70点・男性45歳・愛知県)
- ・正月や新年会などのイベントや挨拶まわりがあり、お金を使う機会が多い(90点・男性54歳・神奈川県)
- ・新年には、新しくしたいものが出てくるので(70点・男性62歳・大阪府)
- ・新しく何か良いものを買って1年頑張りたいという気持ちから(70点・女性27歳・大阪府)
- ・子供が冬休みという事で、どこかへ出かけたり買い物をする機会が増えるから。新学期へ向けての買い物、冬物セール、新年で財布の紐も緩むので消費意欲は高まる(90点・女性37歳・愛知県)
- ・福袋や冬物衣類セールなど、自分にとって誘惑が多い時期だから(95点・女性41歳・大阪府)
- ・お正月等でいろいろと消費する場面が増えるから(70点・女性50歳・愛知県)
- ・洋服などは、冬物バーゲンが盛んな時期だし、お正月気分もまだ抜けなくて、つい色々買ってしまいそうです(80点・女性61歳・千葉県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年1月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	31.3	-10.2	+1.7
男性	28.1	-6.1	+2.8
女性	34.5	-14.5	+0.5

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(469人)

順位	カテゴリー	1月(人数)	前年同月比
1	ファッション	290	+30
2	外食	201	+26
3	食品	172	+7
4	旅行	161	+24
5	書籍・エンタメ	115	+3
6	飲料	102	+2
7	レジャー	100	-10
8	家電・AV	93	-1
9	化粧品	91	±0
10	装飾品	77	-21
11	日用品	69	-10
12	パソコン・タブレット・周辺機器	67	+16
13	理美容	62	-27
14	インテリア用品	59	-5
15	スマートフォン・携帯電話	41	+14
16	車・バイク	32	-2

参考:男性(212人)

順位	カテゴリー	1月(人数)	前年同月比
1	ファッション	107	+28
2	外食	89	+29
3	旅行	75	+20
4	書籍・エンタメ	70	+14
5	食品	69	+9
6	飲料	47	+7
6	家電・AV	47	-7
6	パソコン・タブレット・周辺機器	47	+6
6	レジャー	47	+4
10	車・バイク	28	+2
11	装飾品	26	-4
11	日用品	26	+6
13	スマートフォン・携帯電話	20	+5
13	インテリア用品	20	+3
15	化粧品	12	+5
16	理美容	9	-13

参考:女性(257人)

順位	カテゴリー	1月(人数)	前年同月比
1	ファッション	183	+2
2	外食	112	-3
3	食品	103	-2
4	旅行	86	+4
5	化粧品	79	-5
6	飲料	55	-5
7	理美容	53	-14
7	レジャー	53	-14
9	装飾品	51	-17
10	家電・AV	46	+6
11	書籍・エンタメ	45	-11
12	日用品	43	-16
13	インテリア用品	39	-8
14	スマートフォン・携帯電話	21	+9
15	パソコン・タブレット・周辺機器	20	+10
16	車・バイク	4	-4

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値。

<全体にのみ下記基準で色付け>

オレンジ:前年同月比で20人以上増加

青:前年同月比で20人以上減少

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	158	185	136	155	756
女性	116	154	179	134	161	744
合計	238	312	364	270	316	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2016年12月1日(木)～5日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。
「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-01/>)からダウンロードしていただけます